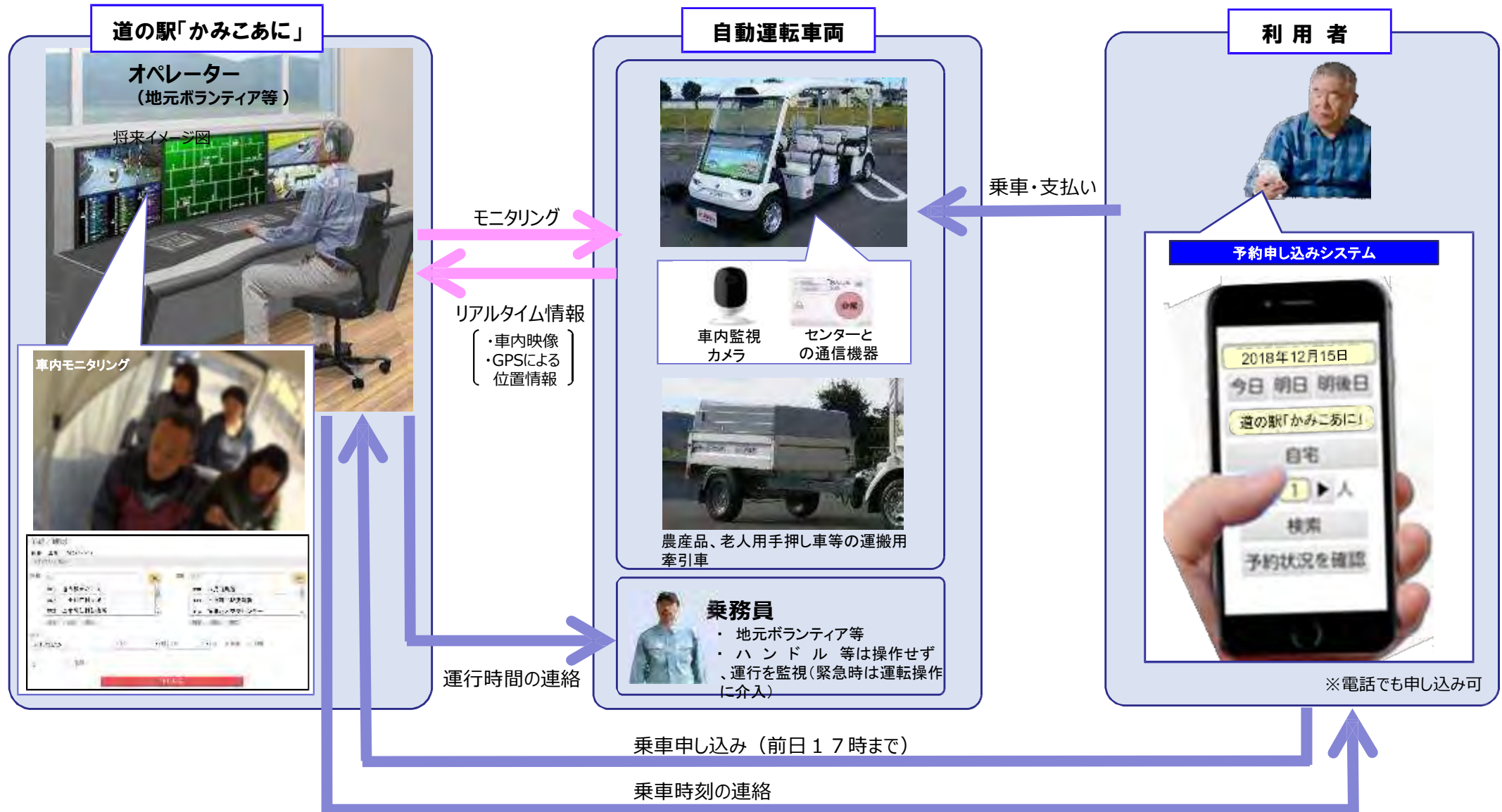


- 道の駅「かみこあに」内に運行管理センターを設置、車両からのリアルタイム情報をもとに運行状況をモニタリング
- 利用者の申し込みに応じて運行するデマンド運行方式。利用者は、スマホや電話等を通じて乗車を申し込み、運行管理センターが利用者に乗車時刻を連絡。集荷・配送時も同様の方法で運行（運搬用の牽引車の活用）



平成30年度 実証実験ルート（道の駅「芦北でこぼん」を拠点とした実証実験）



【実験車両】



○ヤマハ製(6人乗り)
2台使用

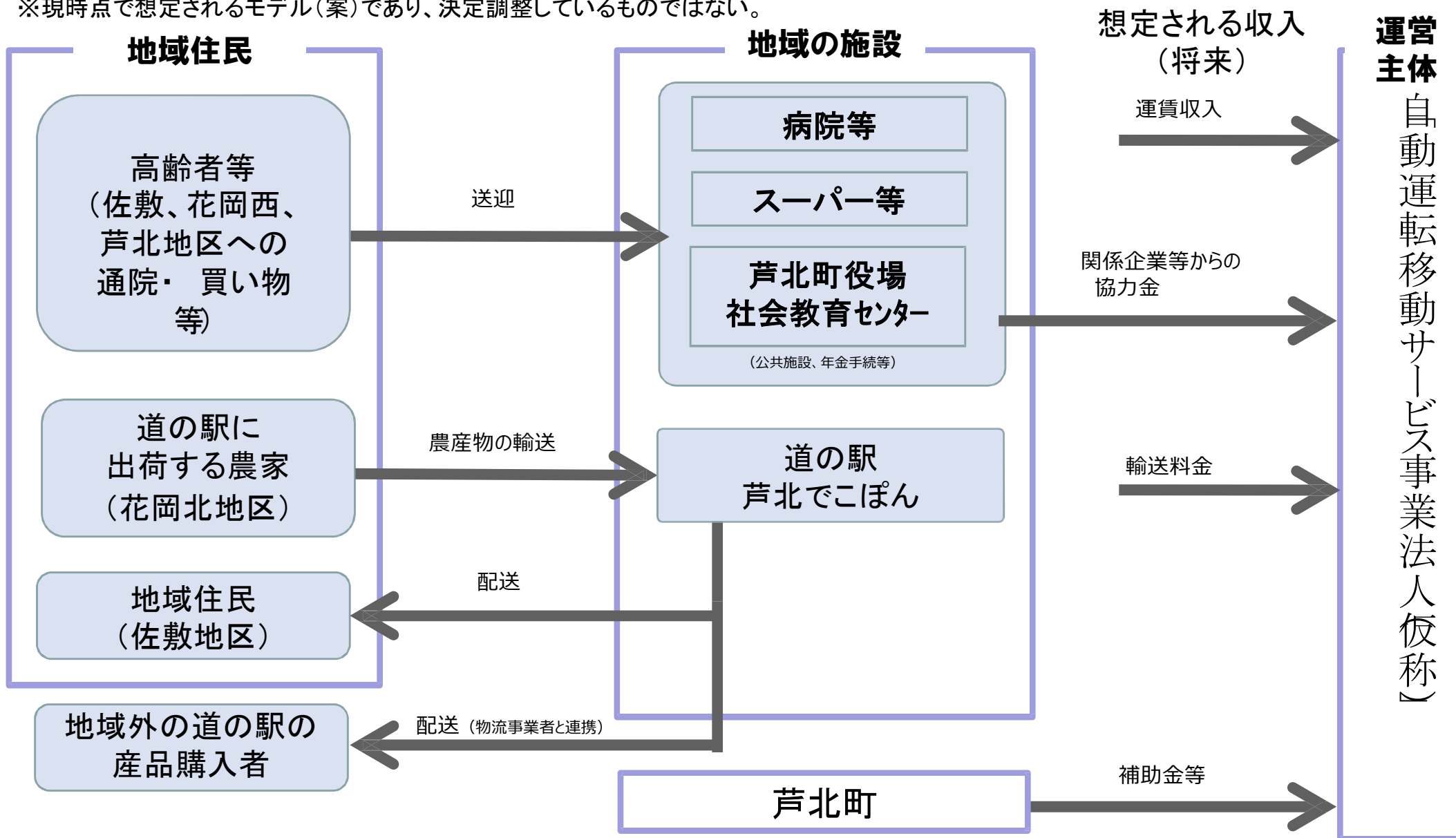
【自動運転区間の構造】



○電磁誘導線を敷設、
実験車両を誘導

- 高齢者等を道の駅「芦北でこぼん」や病院等へ送迎し、高齢者の日常的な生活の足を支援
- 道の駅「芦北でこぼん」への農作物の輸送を行い、高齢農家を支援

※現時点で想定されるモデル(案)であり、決定調整しているものではない。



- 佐敷宿交流館内に運行管理センターを設置、車両からのリアルタイム情報をもとに運行状況をモニタリング。
- 利用者の申し込みに応じて運行するデマンド運行方式。利用者は、スマホや電話等を通じて乗車を申し込み、運行管理センターが利用者に乗車時刻を連絡。
- 集荷時も同様の方法で運行（運搬用の牽引車の活用）。

